

第4回米原市都市計画マスタープラン改定検討委員会 議事録（要旨）

日 時	平成28年7月5日（火）午前10時00分から午前11時2分まで		
場 所	米原市役所 近江庁舎2階 会議室2A		
出席者	委員	9名	1号委員：石井良一委員、轟慎一委員 2号委員：富田茂委員、宇野慶壽委員、高木弘重委員 3号委員：山口英明委員、三田村健城委員、安田智枝美委員 4号委員：宇野恵士委員
	事務局	4名	山崎土木部長、都市計画課：木村課長、澤田主幹、田中主査
検討事項	1 米原市都市計画マスタープラン（案）について 2 特定用途制限地域指定および条例（案）について		
配布資料	次第、座席表、 <u>資料1</u> 米原市都市計画マスタープラン（案）修正対照表、 <u>資料1-1</u> 米原市都市計画マスタープラン（案）に関する意見に対する対応案について、 <u>資料2</u> 米原市特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例（案）に係る滋賀県への意見照会結果について、 <u>資料3</u> 特定用途制限地域の指定方針、 <u>資料4</u> 米原市特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例（案）、 <u>参考資料</u> 第3回米原市都市計画マスタープラン改定検討委員会議事録（要旨）、 <u>参考資料</u> 米原市都市計画マスタープラン改定等に関する説明会資料		
傍聴者	0人		

【検討内容】

委員長	<p><u>1 土木部長挨拶</u></p> <p>パブリックコメントや説明会で市民意見を反映したということで、都市計画審議会に向けて、まずは皆さんに案の承認いただきたいので、慎重で活発な議論をお願いします。</p>
委員長	<p><u>2 検討事項1：米原市都市計画マスタープラン（案）について説明</u></p> <p>坂田駅周辺の整備方針で、立地適正化計画の文言があるが、それまでに触れているか。</p>
事務局	<p>「都市づくりの基本方向」で、本市を取り巻く社会情勢として触れるとともに、「土地利用の方針」で、「活用も視野に入れ」として触れている。</p>
委員長	<p>立地適正化計画を策定するか決まっていないのか。</p>
事務局	<p>表現としては「視野に入れる」等としているが、国・県でも推奨され、全国や県内でも多くの自治体が策定に取り組みされており、基本的には策定を進め活用する予定である。</p>
委員長	<p>事務局に任せるが、一般の方には理解し難いと思うので説明書きが必要かと思う。</p>
委員長	<p><u>3 検討事項2：特定用途制限地域指定および条例（案）について説明</u></p> <p>説明会で意見のあった都市計画区域外での産業廃棄物処理施設の立地については、確かに色々な手続きや許可を経ての立地となると思うが、不法投棄に近いような形でいつの間にかゴミ処理場ようになっていたケースもある。この地域でもあったのか。</p>
事務局	<p>直接は聞いていない。</p>
委員長	<p>2つの（案）について、一度は議会でも議論されたのか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの実施には議会への報告が必要なため、報告している。</p>
委員長	<p>今後、議会で条例を提案して審議いただくということか。</p>
事務局	<p>条例はもちろん、米原市では都市計画マスタープランも議決事件となっているので、併せて提案する。</p>
委員長	<p>ほかに意見がなければ、2つの（案）について、本改定検討委員会としては、検討・</p>

確認したということによろしいか。

【異議なし】

4 委員からの感想および今後の提言

委員長

それでは、改定に関わった委員の皆さんから、今後のまちづくりについて、意見や感想があればと思うが。

委員

都市計画マスタープランの改定は労力が伴うものと察するが、県の土木事務所としては、今後の河川や道路等の社会資本整備の推進に協力していきたい。

委員

今は我々世代の人口は多いが、若い人が高齢になったときを見据え、我々世代より若者のことを考えた都市計画マスタープランになることを願う。

委員

立派なプランに改定いただいたと思うので、実現していただきたい。また、多和田在住なので、特定用途制限地域の指定が、有意義な決定になることを期待している。

委員

多岐に渡るプランであり、理解できないまま終わってしまった感もある。現状では、近江地域が中心に住宅や商業施設等で発展し、米原で新庁舎の位置も決まったが、市全体としてバランスのとれた発展になるようお願いしたい。高齢者施設や福祉施設にも配慮して、暮らしに根差した米原市づくりを進めていただきたい。

委員

柏原のまちづくりグループが活発に活動されていて、将来的に観光への取組もやっていきたいとのことだった。都市計画マスタープランにはあまり観光分野の記載がないが、柏原地区も観光に資する歴史的な資産があるので、今後の施策を検討いただきたい。

委員

都市計画マスタープランを基とする各種実施計画・施策があると思うが、中でも双壁である都市開発と農地保全のバランスを上手く調整して進めていただきたい。また、駅周辺でも空き店舗等が増えているので、活性化につながる施策を期待したい。

委員

土地改良区としては、農地の保全と調整が非常に重要だと考えているので、慎重にお願いしたい。また、近江地域の国道 21 号沿道は交通の要衝でもあって、これまでから物流系の倉庫業が多く林立してきたが、果たしてそれが住民にとってまちづくりにつながるのかという気もするので、考えていただくべき問題かと思った。

副委員長

市民意見や関係機関協議の資料はいろんな意味で刺激をもらった。都市計画マスタープランへの意見ももちろんだが、これを契機に都市計画自体について知ったり理解したり、身近な家屋や農地についての疑問を解消する機会になったり、まちづくりや市政に対する意見が活発に出ていたようなので、やはり市民の皆さんと膝を付き合わせて議論していくことが大事だと感じた。一方で、従来型の宅地化や市街地化という意見や、施設整備や企業誘致という意見もあるが、人口減少が進む中、財源面等の現実を受け止めながら、市民と行政が手を携えて互いに知恵出しながら、実際にまちづくりへの行動していくことが改定後のこれからの大事なことだと思う。このマスタープランが実際の施策に、ひいては実際の市民生活に生きて実現されていくことを期待する。

委員長

今回の改定では、コンパクト+ネットワークの都市づくりという考え方が全体的に基本となっている中、市庁舎の位置が未解決ではしっかりこなかったかと思うが、米原駅周辺の拠点整備中心に、それぞれの生活交流拠点とネットワークでつながるという方向性が取れたので良かったと思う。都市計画マスタープランは指針であって、これを基に、実際に各現場で市民と行政が力合わせてまちづくりしていくことなので、そういう 10 年間の指針という意味では、1つの役割を果たしていくものと期待している。

それでは、これらの（案）に沿って具体的な改定、指定・制定を進めていただきたい。